

基本的な情報収集①

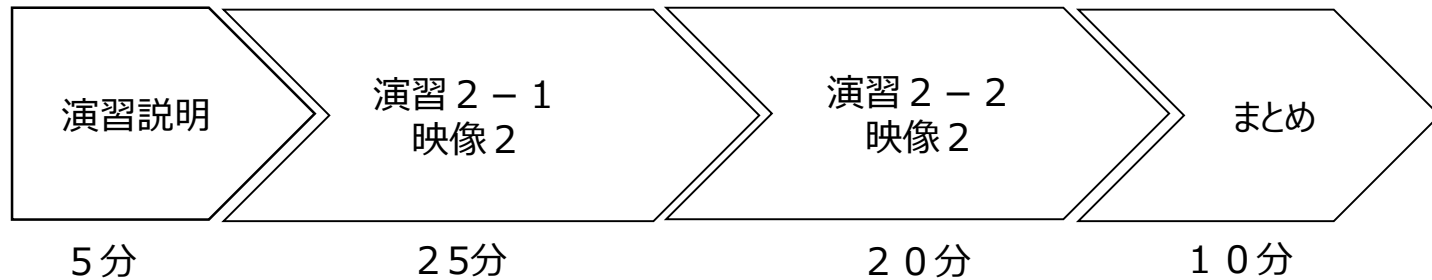
行動を観る視点

社会福祉法人 同愛会
東京事業本部 日の出福祉園
副事業統括所長 竹矢 恒

この時間で学びたいこと

- 強度行動障害で困っている人の行動は、立場や状況によって様々な定義をすることができます。
- 本当に困っているのは当事者本人であることを確認します。
- 当事者の困り感には障害特性が関連しており、関連する行動に注目して情報収集することで当事者の情報処理のつまずきに気づくことが出来ることを確認します。
- 情報処理の特性を把握し、適切な環境を提案することが有効な支援のヒントになります。
- 行動そのものに注目して、その行動の機能に注目する方法もあります（上級編）。

この時間の流れ



- 1回目の映像視聴で、行動を観る視点を整理します。
- 2回目の映像視聴は、障害特性で行動を整理します。

演習 2 – 1 行動のピックアップ

ビデオを見て、課題となっている行動を、3つピックアップしましょう

①

②

③

ピックアップした行動の定義

5分

【作業①】

ピックアップした行動を、次のページのテーマに沿って、定義してみましょう

■ A4「行動の問題性定義シート」を使います

5分

【作業②】

記入した【作業①】について、隣の人と比較してみましょう

- 1) 隣の人と共通の見立てが出来ていた点は？
- 2) 隣の人と見立ての違いがあった点は？

【作業①】 行動の問題性を定義してみよう

これらの問題は、**誰にとってどのような問題**なの
でしょうか？

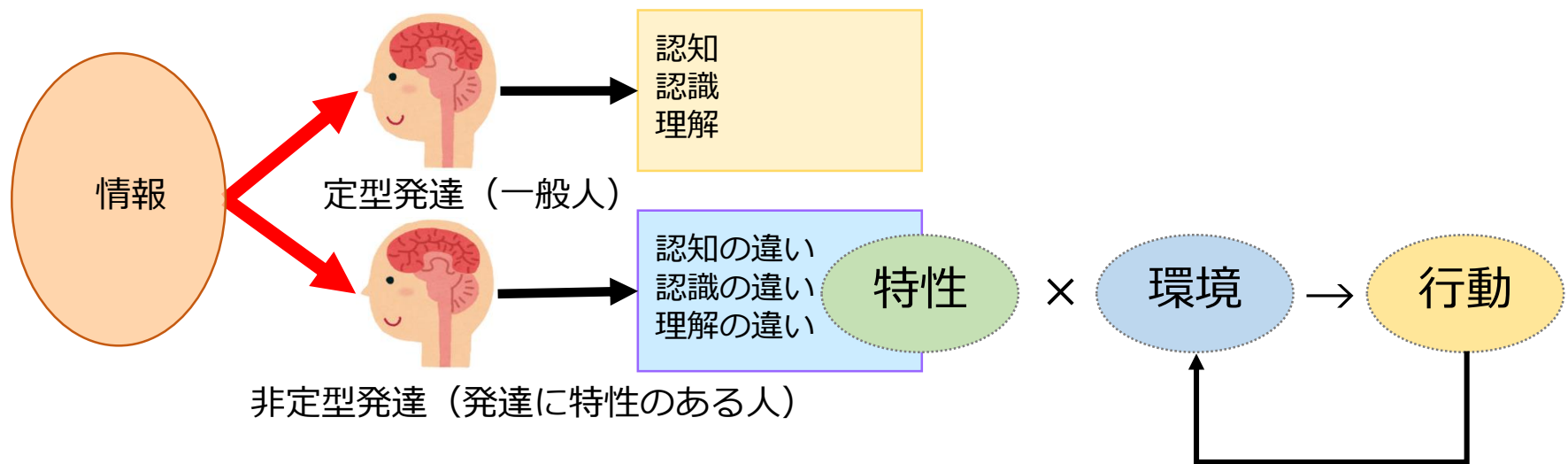
① () にとって
() という問題

② () にとって
() という問題

③ () にとって
() という問題

行動を観る視点を整理しよう

まず、強度行動障害に関する問題の骨格を確認

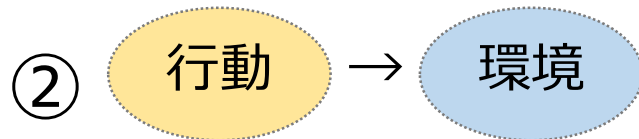


行動を観る視点を整理しよう

誰が困っているのかを考える



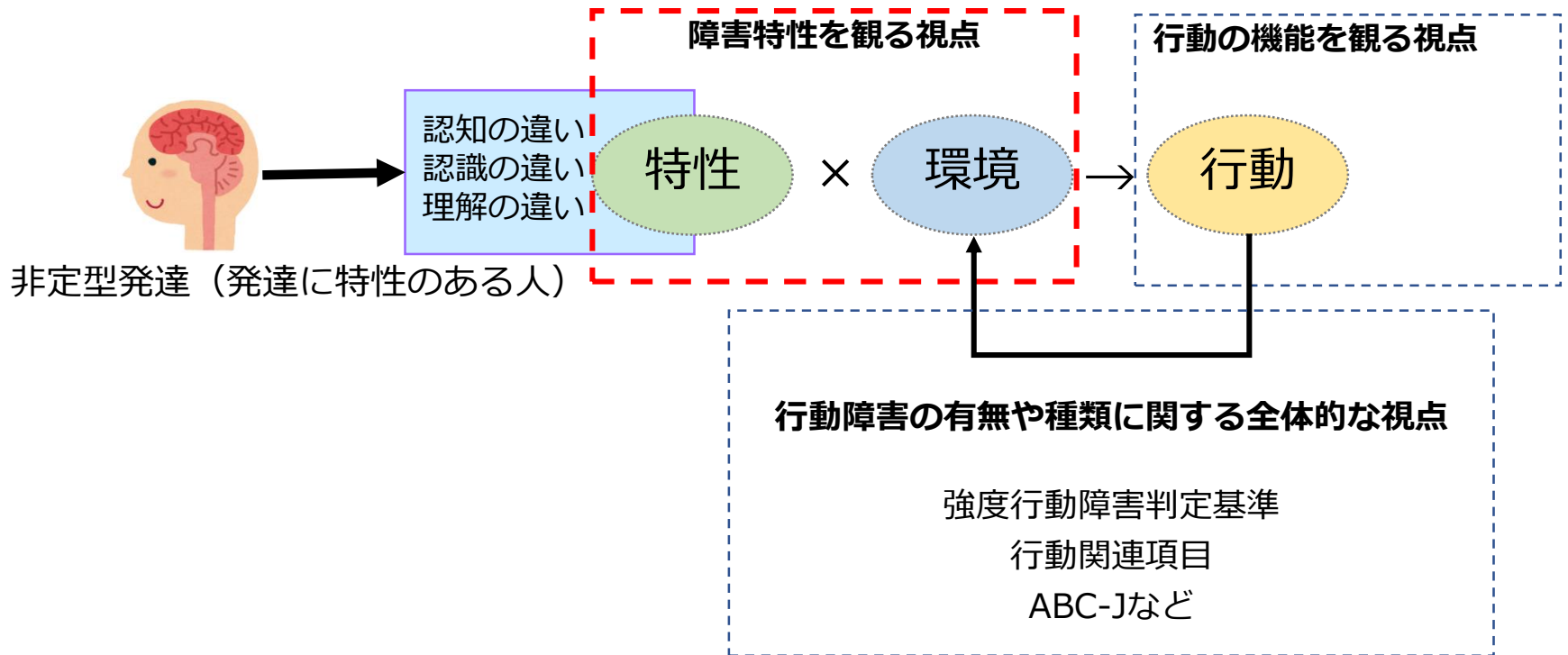
特性と環境のミスマッチで本人が困っている



本人の表出行動に周囲が困っている

行動を観る視点を整理しよう

どのポイント観るのが大切



「特性を把握する」という視点

- 個別の「障害特性」に対して周囲の「環境要因」がミスマッチな場合に、その環境に対しての不適応行動が生じることがあります
- 本人は困らせている人ではなく、困っている人という視点が重要です
- 個別の困り感に対する合理的配慮が支援の基本となります
- その場合の合理的配慮は、構造化のアイデアを活用することがスタンダードとなっています

演習 2 - 2 障害特性で整理する

もう一度ビデオを見て、障害特性で行動を整理してみましよう。

診断の基準に照らす項目	【1】この項目の項目に照らす行動の分類	【2】この行動の項目に照らす行動の分類 (読む・注意・集中・運動・姿勢などの特性も含む)	【3】支援のアイデア
人とかかわりが一方的である 相手の気持に理解が乏しい 一人でいることを好む 人付き合いが苦手である 尊敬の人とよいコミュニケーションが難しい 周囲の噂やから罵られることを苦手でいる 物事に集中できずに自分から離れていることが多い	現れている行動の例	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 視線や音源から読みとめるのは苦手である 表情や声質などが身体的特徴が苦手である 文字や音声、音に集中して読解することができない 情報の多いものやその処理が苦手である どこを見たいか、どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 自分と周囲との関係や態度など見える形で伝える 「いつ」「どこ」「何を」の情報を見てわかるように伝える 音や文字を補助して読解する 「どうやって」「どう読みたいか」をわかるように工夫する 困ったときにどう読みたいかを具体的に伝える 環境を、負担を少なくする 読みや材料などの配置を工夫する その他
社会的特性	年齢相応の常識(社会ルール)が身につけていない その場に応じた適切な行動がとれない 周囲のことに関心がない 活動の中心が弱い 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由行動が上手でない 危険と思われる行動を繰り返してしまふ	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
状況の理解が難しい	言語で指示をしてもうまく行動できない(指示されたことと違うことをする) 読み進めた場面での言葉の意味が変化したりわからないことがある 相手の表情や声質、反応が多岐にわたる(特定の表情や音源に対して反応する) 短い言葉でわからない(短い言葉ならわかることもある) 相手の言葉をそのまま理解することが難しい(言葉の意味がわからない) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(聞き取ることができない) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(聞き取ることができない) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(聞き取ることができない)	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
理解が難しい	言語で指示をしてもうまく行動できない(指示されたことと違うことをする) 読み進めた場面での言葉の意味が変化したりわからないことがある 相手の表情や声質、反応が多岐にわたる(特定の表情や音源に対して反応する) 短い言葉でわからない(短い言葉ならわかることもある) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(言葉の意味がわからない) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(聞き取ることができない) 相手の言葉を聞き取ることが難しい(聞き取ることができない)	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
コミュニケーションの特性	行動(かんしゃ、パニック、身体表現、クレーンなど)で気持ちを伝える メールやウェブ上のやり取りは苦手である(相手の気持ちを感じない) 自分と他人の気持ちのズレがわからない 言葉の持つニュアンスや感情がわからない この場所ではこの話題、この人とはこの話題とお決まりの話題が多い 文法が覚えにくい(単語・文法) / 構文が覚えにくい(構文)を把握する	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
発音が難しい	詳細がわからない(アイコンタクトが取れない) やり取りが難しい 言葉が聞き取れない 理解と発信のバランスが大きい	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
責任への対応困難	自分のルールを覚えることが難しい(必要があっても覚えない) 目標が変わる、担当が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い 複雑な途中で止められたい対応できない 複雑な途中で止められたい対応できない	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
想像力の特性	物と一緒に行動する 物と一緒に行動する 物と一緒に行動する	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
実行・記憶的な行動	同じ場所に行きたがらない、同じ言葉にしないなどのこだわりがある 同じ場所に行きたがらない、同じ言葉にしないなどのこだわりがある 同じ場所に行きたがらない、同じ言葉にしないなどのこだわりがある	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
聴覚の特性	聴覚・聴覚、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど 聴覚・聴覚、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど 聴覚・聴覚、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
感覚の特性	感覚過敏、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど 感覚過敏、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど 感覚過敏、特定の音を嫌がる、特定の音が大音量にしたがるなど	⊖ 見えないものの情報が見えない 読解などの理解が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である 情報の多いものやその処理が苦手である どこで読みたいかわからない 何を話しているかわからない 一緒に読みたいものや読む順番などが難しい 読み進めるスピードが遅い	⊕ 生かせる強みがある(視線から) 本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体動作)を提供する 伝え方に配慮する 伝え方を試みる 理解できず待つ 環境を整え、負担を少なくする ただし、どうやって伝えるかを具体的に指示 伝えたいことを伝える工夫を用意する 興味を見えるツールで支援する 本人の発達段階に合わせて会話の場の設定をする 会話の場の人にも配慮する その他
文得意なこと・強み できること・好きなことなど			

社会性の特性

先程ピックアップした行動のうち、社会性の特性に該当する行動を選択し、行動のポイントを下記の例のようにチェックしてみましょう。

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関する行動の特性	現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/>
社会性の特性	人や集団との関係に難しさがある	人とかかわりが一方的である 相手の気持ちに関係なく行動する 一人であることを好む 同世代の人と上手に付き合うことができない 人が多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが難しい 周囲の様子から期待されていることを理解することが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい		
	状況の理解が難しい	年齢相応の常識（社会的なルール）が身につけていない その場にふさわしい（安全・迷惑等状に配慮した）行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてしまう		

診断の基準に関する項目	【1】診断の基準に関する行動の特性	現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/>
社会性の特性	人とかかわりが一方的である 相手の気持ちに関係なく行動する 一人であることを好む 同世代の人と上手に付き合うことができない 人が多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが難しい 周囲の様子から期待されていることを理解することが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい		<input checked="" type="checkbox"/>
状況の理解が難しい	年齢相応の常識（社会的なルール）が身につけていない その場にふさわしい（安全・迷惑等状に配慮した）行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてしまう		<input type="checkbox"/>

社会性の特性

チェックした項目の具体的な行動を記入しましょう

特性確認シート

		【1】診断の基準に関係する行動の特性	
診断の基準に関係する項目		現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/> 具体的な行動
社会性の特性	人や集団との関係に難しさがある	人とのかわりが一方的である 相手の気持ちに関係なく行動する 一人であることを好む 同世代の人と上手に付き合いができない 人が多いところが苦手である 複数の人といっしょに活動することが難しい 周囲の様子から期待されていることを理解することが苦手である 他者に求められていることと自分に求められていることの区別が難しい	
	状況の理解が難しい	年齢相応の常識（社会的なルール）が身につけていない その場にふさわしい（安全・迷惑等状に配慮した）行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてしまう	

コミュニケーションの特性

先程ピックアップした行動のうち、コミュニケーションの特性に該当する行動を選択し、行動のポイントを下記の例のようにチェックしてみましょう。

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関係する行動の特性	現れている行動の例	
	理解が難しい		<p>言語で指示をしてもすぐに行動できない／指示されたことと違うことをする</p> <p>決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある</p> <p>相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい</p> <p>相手の表情や視線、気持ちを読むことが苦手である／特定の表情や雰囲気だけに過剰に反応する</p> <p>短い言葉でないとわからない（短い言葉ならわかることもある）</p> <p>相手の言葉をそのまま繰り返すことがある（反響言語・エコーリア）</p> <p>言葉の意味を勘違いすることがよくある（見て理解が得意）</p> <p>抽象的で曖昧な（ちょっと、ゆっくり、なんとなく、だいたいなど）表現の理解が難しい</p> <p>冗談や駄洒落、慣用句などが理解できない／字義通りの理解（言外の意味を把握できない）</p>	
コミュニケーションの特性	発信が難しい		<p>行動（かんしゃく・パニック・身体表現・クレーンなど）で気持ちを伝える</p> <p>コマーシャルやアニメの台詞は言えても伝える手段で言葉を使えない</p> <p>自分にしかわからない言い方で伝えることがある（帰りたいとなると「りんど」と言うなど）</p> <p>言葉の特定の機能しか使えない（要求のみ・あいさつのみ）</p> <p>返事が相手の言葉の繰り返しになりやすい（反響言語）</p> <p>この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い</p> <p>文法が使えない（単語・二語文）／使えても助詞（がのにを）を間違える</p>	
	やり取りが難しい		<p>視線が合わない／アイコンタクトが取れない</p> <p>やりとりができない／かみあわない</p> <p>やりとりが続かない</p> <p>唐突に話し出す／自分が知ることは相手も知っている前提で話をすることができない</p> <p>理解と発信の状態像のアンバランスさが大きい</p>	

診断項目	該当する行動の例	診断結果	対応策
コミュニケーションの特性	理解が難しい		
コミュニケーションの特性	発信が難しい		
コミュニケーションの特性	やり取りが難しい		

コミュニケーションの特性

チェックした項目の具体的な行動を記入しましょう

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関する行動の特性	☑	具体的な行動
		現れている行動の例		
コミュニケーションの特性	理解が難しい	言語で指示をしてもすぐに行動できない／指示されたことと違うことをする		
		決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある		
		相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい		
		相手の表情や視線、気持ちを読むことが苦手である／特定の表情や雰囲気だけに過剰に反応する		
		短い言葉でないとわからない（短い言葉ならわかることもある）		
		相手の言葉をそのまま繰り返すことがある（反響言語・エコラリア）		
	発信が難しい	言葉の意味を勘違いすることがよくある（見て理解が得意）		
		抽象的で曖昧な（ちょっと、ゆっくり、なんとなく、だいたいなど）表現の理解が難しい		
		冗談や駄洒落、慣用語などが理解できない／字義通りの理解（言外の意味を把握できない）		
やり取りが難しい	行動（かんしゃく・パニック・身体表現・クレーンなど）で気持ちを伝える			
	コマーシャルやアニメの台詞は言っても伝える手段で言葉を使えない			
	自分にしかわからない言い方で伝えることがある（帰りたいとなると「りんご」と言うなど）			
	言葉の特定の機能しか使えない（要求のみ・あいさつのみ）			
	返事が相手の言葉の繰り返しになりやすい(反響言語)			
	この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い			
	文法が使えない（単語・二語文）／使っても助詞（がのにを）を間違える			
	視線が合わない／アイコンタクトが取れない			
	やりとりができない／かみあわない			
	やりとりが続かない			
	唐突に話し出す／自分が知ることは相手も知っている前提で話をするができない			
	理解と発信の状態像のアンバランスさが大きい			

想像力の特徴

先程ピックアップした行動のうち、想像力の特徴に該当する行動を選択し、行動のポイントを下記の例のようにチェックしてみましょう。

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関する行動の特性	現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/>
想像力の特徴	変化への対応困難	自分のルールを変えられることに抵抗がある／必要があっても変更できない	日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い	
	物の一部に対する強い興味	活動の途中で止められると対応できない	新規場面（初めてのこと）が苦手である	
		細かいことが気になってひっかかる	段取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である	
	常同・反復的な行動	標識、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返しの再生などの一部分に執着する	必要があっても、自分の興味のないものに関心を示すことができない	
		細かいことが気になってひっかかる	声をかけても聞こえていないようにふるまうことがある	
		同じ場所に置きたい、同じ角度にしたいなどのこだわりがある	同じ行動や活動、同じ言葉を何度も繰り返す／長時間続ける	
		自分なりの手順、日課、道順などの自分ルールが多くある		

行動の特性	行動の例	行動の特性	行動の例
1. 変化への対応困難	自分のルールを変えられることに抵抗がある／必要があっても変更できない	2. 物の一部に対する強い興味	標識、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返しの再生などの一部分に執着する
3. 常同・反復的な行動	自分なりの手順、日課、道順などの自分ルールが多くある	4. 想像力の特徴	活動の途中で止められると対応できない
			新規場面（初めてのこと）が苦手である
			細かいことが気になってひっかかる
			声をかけても聞こえていないようにふるまうことがある
			同じ場所に置きたい、同じ角度にしたいなどのこだわりがある
			同じ行動や活動、同じ言葉を何度も繰り返す／長時間続ける
			自分なりの手順、日課、道順などの自分ルールが多くある

想像力の特徴

チェックした項目の具体的な行動を記入しましょう

特性確認シート

【1】診断の基準に關係する行動の特性			
診断の基準に關係する項目	現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/>	具体的な行動
想像力の特徴	変化への対応困難	自分のルールを変えられることに抵抗がある／必要があっても変更できない	
		日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更に弱い	
		活動の途中で止められると対応できない	
		新規場面（初めてのこと）が苦手である	
	物の一部に対する強い興味	段取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である	
		標識、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返し再生などの一部分に執着する	
		必要があっても、自分の興味のないものに関心を示すことができない	
		細かいことが気になってひっかかる	
	常同・反復的な行動	声をかけても聞こえていないようにふるまうことがある	
		同じ場所に置きたい、同じ角度にしたいなどのこだわりがある	
		同じ行動や活動、同じ言葉を何度も繰り返す／長時間続ける	
		自分なりの手順、日課、道順などの自分ルールが多くある	

感覚の特性

先程ピックアップした行動のうち、感覚の特性に該当する行動を選択し、行動のポイントを下記の例のようにチェックしてみましょう。

特性確認シート

診断の基準に関する項目		【1】診断の基準に関係する行動の特性	現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/>
感覚の特性	感覚が敏感・鈍感	聴覚/耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど		
		視覚/眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど		
		触覚/同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど		
		嗅覚(臭覚)/刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど		
		味覚/著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど		
		臭覚/刺激臭を好む。特定の臭いを極端に嫌うなど		
		その他/目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど		
その他/体温調整や気圧の変化への対応の苦しさがあるなど				

項目	診断の基準に関する項目	現れている行動の例	診断の基準に関する項目	現れている行動の例
聴覚	聴覚/耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど	聴覚/耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど	聴覚	聴覚/耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど
視覚	視覚/眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど	視覚/眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど	視覚	視覚/眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど
触覚	触覚/同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど	触覚/同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど	触覚	触覚/同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど
嗅覚	嗅覚(臭覚)/刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど	嗅覚(臭覚)/刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど	嗅覚	嗅覚(臭覚)/刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど
味覚	味覚/著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど	味覚/著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど	味覚	味覚/著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど
その他	その他/目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど	その他/目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど	その他	その他/目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど
その他	その他/体温調整や気圧の変化への対応の苦しさがあるなど	その他/体温調整や気圧の変化への対応の苦しさがあるなど	その他	その他/体温調整や気圧の変化への対応の苦しさがあるなど

感覚の特性

チェックした項目の具体的な行動を記入しましょう

特性確認シート

【1】診断の基準に関係する行動の特性			
診断の基準に関係する項目		現れている行動の例	<input checked="" type="checkbox"/> 具体的な行動
感覚の特性	感覚が敏感・鈍感	聴覚/耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音を大音量にしたがるなど	
		視覚/眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど	
		触覚/同じ素材の服しか着たがらない、爪切り、歯磨き、洗髪、散髪などで激しく抵抗するなど	
		嗅覚(臭覚)/刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど	
		味覚/著しい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものばかり食べるなど	
		臭覚/刺激臭を好む。特定の臭いを極端に嫌うなど	
		その他/目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど	
		その他/体温調整や気圧の変化への対応の苦手さがあるなど	

特性に対する合理的配慮

特性確認シート		【1】診断の基準に關係する行動の特性		【2】その行動の背景にある要因として考えられること (認知・記憶・注意・集中・運動・姿勢などの特性も含む)		【3】支援のアイデア	
診断の基準に關係する項目		現れている行動の例	具体的な行動				
社会性の特性	人や集団との関係に難しさがある	人とのかかわりが一方的である 相手の気持ちに關係なく行動する 一人であることを好む		見えないものの理解が難しい 曖昧なものの理解が苦手である 視線や雰囲気から読みとるのは苦手である 表情や声質など全体的な理解が苦手である 文字や数字、示された情報を理解することができない 情報の多いものやその処理が苦手である どこを見たらいいか、どこで活動したといいかわからない 今あるいはさききしていたことを忘れてしまう 一緒に同じものを見て気持ちを合わせるのに苦労する 刺激に影響されやすい 運動や手先の使い方が不得手で活動をこなせない 姿勢や動きがぎこちないために行えないように見える 時間の流れを頭の中で組み立てられない 終わりが理解しにくい ひとつの活動に集中しきれない その他		生かせる強みがある(☆欄から)	
	状況の理解が難しい	年齢相応の常識(社会的なルール)が身につけていない その場にふさわしい(安全・迷惑等状に配慮した)行動がとれない 周囲にどのように見られているかわからない 周囲のことに興味を示さない 活動への参加が難しい 自分勝手な行動をしているように見える 待つのが苦手である 自由時間を上手に使うことができない 危険と思われる行動をしてみよう				自分と周囲との関係や感情などを見える形で伝える 自分の心と体を休められる場所を用意する 「いつどこで」何を」の情報を提供できるように伝える 着目すべき場所を強調する 一つの場所を多目的に使わないようにする 「どうやって」「どうなったら終わり」「次に何をやる」をわかるように工夫する 困ったときに誰にどう伝えたらいいかを具体的に伝える 環境を整え、刺激を少なくする 活動の量やジグなどの工夫をする 椅子や材料などの配置を工夫する その他	
コミュニケーションの特性	理解が難しい	言語で指示を示してもすぐに行動できない／指示されたことと違うことをする 決まりきった場面での言葉はわかるが状況が変わるとわからないことがある 相手の話の全体ニュアンスを理解することが難しい 相手の表情や視線、気持ちを読むことが苦手である／特定の表情や雰囲気だけに過敏に反応する 短い言葉でない 相手の言葉の意味を聞き取れない 言葉の意味を聞き取れない 抽象的かつ曖昧なこと、ゆっくり、なんとなく、(はい)など、表裏の意味が難しい 冗談や駄洒落、 穴談や駄洒落、		見えないものの理解が難しい ものごとの関連性がわからない 情報の多いものやその処理が苦手である 細部に着目してしまう 刺激に敏感である 感覚が鋭い 自分の感情が読み取れない 音声が聞き取れない 顔に感情が読み取れない どうやら聞こえていない どうやら聞こえていない 興味がある 相手の言葉に敏感である 言葉が通じない その他		生かせる強みがある(☆欄から)	
	発信が難しい	返事が相手の言葉の繰り返しにならない この場所ではこの台詞、この人とはこの台詞とお決まりの台詞が多い 文法が怪しい(単語・二語文)／使えども助詞(が)の(を)を間違える				本人が使いやすいツール(文章、単語、絵、写真、シンボル、身体物等)を提供する 伝える量に配慮する 伝える速さを調整する 環境を整え、刺激を少なくする ただし、 必ず 会話を尊重し、本人のペースに合わせる 本人の処理速度に合わせた会話の場の調整をする 会話の場の人数などにも配慮する その他	
想像力の特性	物の一部に対する強い興味	視線が合わない／アイコンタクトが取れない やりとりができない／かみあわない やりとりが続かない 唐突に話し出す／自分が知っていることは相手も知っている前提で話をする事ができない 理解と発信の状態の違いアンバランスが大きい		自分の(ひとつの)やり方から抜け出すことが難しい 変更があることの理解が難しい 興味関心が強く狭い 集中しすぎる その態度判断するのが苦手である 部分的な処理が強く全体の理解が苦手である 少しの違いで大きな不安が生じる 目から入った記憶に強く影響される 手がかりが変わるとわからなくなる やり方を覚えられず、自分のルールに固ってしまう フラッシュバックと思われる混乱がある その他		生かせる強みがある(☆欄から)	最初から正しい方法で学べる準備をする 予金を現実的に言い、成功につながる手がかりを提供する 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする 変更の伝え方を統一する 相手の提示なのかが活動の選択なのかを明確にする 環境を整え、刺激を少なくする 本人の興味関心に合わせて提示(ごほうびの活用)を行う ごほうび等を活用して活動に興味をもたせる 変わらないものは習慣化できるようにする 忘れても確認できるように、手がかりが見えるようにする その他
	常同・反復的な行動	自分のルールを変えられることに抵抗がある／必要があっても変更できない 日課が変わる、担当者が変わる、場所が変わるなどの変更が怖い 活動の途中で止められると対応できない 新規場面(初めての事)が苦手である 段取りを組んだり、優先順位をつけることが苦手である 構文、ロゴ、数字、テレビCM、電車、DVDの繰り返し再生などの一部分に執着する 必要があっても、自分の興味のないものに興味が示すことができない 細かいことが気になってひっきりなしに 声をかけても聞かされていないようにふるまうことがある					必要な刺激は保証する 苦手を刺激を少なくするための配慮(イヤーマフ・サングラスなど)をする 他刺激で代用をするなど、強い刺激や好き過ぎる刺激への配慮を講じる 避難場所の確保を行う その他
感覚の特性	感覚が敏感・鈍感	聴覚(耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、怖がる、特定の音が大音量にしたがるなど) 視覚(眩しがる、目を閉じる、帽子やフードを目深にかぶる、キラキラに没頭するなど) 触覚(同じ素材の服しか着られない、爪切り、歯磨き、洗濯、散髪などで激しく抵抗するなど) 嗅覚(臭覚)／刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど 味覚(箸しにくい偏食、特定の刺激の強い味を好む、同じものをばかり食べるなど) 臭覚(刺激臭を好む、特定の臭いを極端に嫌うなど) その他／目が回らない、ロッキングが多い、高い場所が好きなど その他／体温調整や気圧の変化への対応の苦手さがあるなど		感覚に過敏がある 感覚に鈍感がある 感覚の入出力のコントロールが難しい 鈍麻さを補うための自己刺激行動がある 疲労やストレスが感覚に影響を与えている その他		生かせる強みがある(☆欄から)	
	☆得意なこと・強み・できること・好きなことなど						

ここに書かれている様な行動をヒントに【1】

どんなことに困っているのかを探り【2】

必要な支援や配慮を整えます【3】

氷山モデル(予習)

項目	内容	内容	内容
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

ここに書かれているような行動をヒントに
強度行動【1】障害



必要なサポート

必要な支援や配慮を整えます【3】

まとめ

本人の行動は「困っている」サインかもしれません

【1】 本人の行動をヒントに

【2】 情報処理の特性に気づき

【3】 適切な支援を組み立てていくことで



支援も本人の活動も成功しやすくなります